



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 2019年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	13,532	7.7	1,228	28.9	1,264	25.4	900	16.2
2018年12月期第2四半期	12,564	6.6	952	△3.4	1,008	△9.3	775	△14.2

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 856百万円 (33.3%) 2018年12月期第2四半期 642百万円 (△36.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	29.70	—
2018年12月期第2四半期	25.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	34,510	25,911	71.6
2018年12月期	32,149	24,112	75.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 24,720百万円 2018年12月期 24,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2019年12月期	—	8.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,280	5.4	2,450	24.4	2,520	21.2	1,810	15.9	59.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 （社名） 新綜工業股分有限公司

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	30,743,604株	2018年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	422,243株	2018年12月期	422,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	30,321,361株	2018年12月期2Q	30,321,508株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費に緩やかな回復基調が続いているものの、企業収益が弱含みに推移するなど、景気に足踏み感が見られました。また、米中貿易摩擦に端を発した世界経済の減速懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況となりました。

当社グループの主要販売先におきましては、製紙業界・印刷インキ業界の需要がともに前年を下回るなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努め、また、第1四半期連結会計期間より連結子会社となった新綜工業股份有限公司が加わったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,532百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

利益面では、新綜工業股份有限公司が連結対象に加わったこと、売上原価の低減を図ったことなどにより、営業利益は1,228百万円（前年同期比28.9%増）、経常利益は1,264百万円（前年同期比25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は900百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,278万トンと前年同期比1.9%の減少でありました。当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、中国における売上の減少により当事業の売上高は、8,211百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

利益面では、売上原価の低減を図ったことなどにより、セグメント利益は843百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は15万7千トンと前年同期比3.4%の減少でありました。需要が減少傾向となる中、当社グループにおいては、印刷インキ用樹脂・記録材料用樹脂の売上高は減少いたしました。新綜工業股份有限公司が連結対象に加わったことにより、当事業の売上高は、3,383百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

利益面では、新綜工業股份有限公司の連結対象化に加え、製品販売構成の高付加価値化が進捗したことにより、セグメント利益は313百万円（前年同期比157.0%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加などにより1,937百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は254百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化などによる現金及び預金の増加、商品及び製品の増加、受取手形及び売掛金の減少、及び短期貸付金の減少などにより流動資産は20,753百万円（前連結会計年度末比404百万円増）となりました。

(固定資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による有形固定資産の増加、及び投資有価証券の減少などにより固定資産は13,757百万円（前連結会計年度末比1,956百万円増）となりました。

(流動負債)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による1年内返済予定の長期借入金の計上、その他の流動負債の減少などにより流動負債は7,379百万円（前連結会計年度末比9百万円増）となりました。

(固定負債)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による長期借入金の計上、退職給付に係る負債の減少などにより固定負債は1,219百万円（前連結会計年度末比552百万円増）となりました。

(純資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による非支配株主持分の計上、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当などにより純資産は25,911百万円(前連結会計年度末比1,798百万円増)となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は71.6%となりました。また、有利子負債残高1,495百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.06倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は前回業績予想を下回る見込みではありますが、売上原価の低減を図っていること、製品販売構成の高付加価値化の進捗、及び新綜工業股份有限公司の連結子会社化に伴う特別利益が発生したことなどにより、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回業績予想を上回る見込みでありますので、2019年2月13日に公表いたしました2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の通期の連結業績予想を下記の通り修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,400	2,320	2,400	1,700	56 07
今回修正予想(B)	27,280	2,450	2,520	1,810	59 69
増減額(B-A)	△1,120	130	120	110	
増減率(%)	△3.9	5.6	5.0	6.5	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	25,889	1,969	2,080	1,561	51 51

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,421,385	2,611,719
受取手形及び売掛金	10,664,515	10,109,134
電子記録債権	1,368,324	1,413,140
商品及び製品	2,184,805	2,349,665
仕掛品	351,125	383,767
原材料及び貯蔵品	1,170,695	1,041,769
短期貸付金	2,939,040	2,539,864
その他	253,358	313,614
貸倒引当金	△4,964	△9,555
流動資産合計	20,348,285	20,753,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,445,747	2,717,588
機械装置及び運搬具(純額)	2,024,894	2,162,433
土地	4,466,994	6,564,454
その他(純額)	479,268	939,750
有形固定資産合計	9,416,904	12,384,226
無形固定資産	74,145	70,977
投資その他の資産		
投資有価証券	1,901,919	915,078
その他	455,873	438,239
貸倒引当金	△47,894	△50,983
投資その他の資産合計	2,309,898	1,302,334
固定資産合計	11,800,948	13,757,538
資産合計	32,149,234	34,510,659

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,934,200	3,938,239
短期借入金	730,000	730,000
未払法人税等	279,873	299,056
賞与引当金	550,685	561,778
1年内返済予定の長期借入金	—	71,224
その他の引当金	—	30,950
その他	1,875,203	1,748,641
流動負債合計	7,369,963	7,379,889
固定負債		
長期借入金	—	694,684
役員退職慰労引当金	15,925	7,800
退職給付に係る負債	555,700	414,155
資産除去債務	85,448	85,873
その他	9,706	17,146
固定負債合計	666,780	1,219,660
負債合計	8,036,743	8,599,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,576,265
利益剰余金	20,999,994	21,658,049
自己株式	△105,272	△105,272
株主資本合計	24,460,900	25,129,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,511	293,100
繰延ヘッジ損益	△1,000	△669
為替換算調整勘定	70,156	△13,431
退職給付に係る調整累計額	△727,077	△687,286
その他の包括利益累計額合計	△348,410	△408,287
非支配株主持分	—	1,190,354
純資産合計	24,112,490	25,911,109
負債純資産合計	32,149,234	34,510,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,564,306	13,532,282
売上原価	9,344,026	9,889,178
売上総利益	3,220,279	3,643,103
販売費及び一般管理費	2,267,333	2,414,770
営業利益	952,946	1,228,333
営業外収益		
受取利息	5,951	6,946
受取配当金	10,730	11,215
仕入割引	7,761	6,716
持分法による投資利益	48,815	—
補助金収入	—	20,198
その他	28,837	32,170
営業外収益合計	102,095	77,247
営業外費用		
支払利息	1,467	6,513
売上割引	2,918	2,448
為替差損	38,428	28,578
その他	3,889	3,337
営業外費用合計	46,704	40,877
経常利益	1,008,337	1,264,703
特別利益		
固定資産売却益	2	5
会員権売却益	696	—
負ののれん発生益	—	85,367
特別利益合計	698	85,373
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	1,458	14,491
貸倒引当金繰入額	—	4,000
段階取得に係る差損	—	59,043
特別損失合計	1,464	77,534
税金等調整前四半期純利益	1,007,572	1,272,542
法人税、住民税及び事業税	227,901	270,132
法人税等調整額	4,351	37,512
法人税等合計	232,252	307,644
四半期純利益	775,319	964,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	64,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	775,319	900,626

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	775,319	964,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,275	△16,410
繰延ヘッジ損益	596	330
為替換算調整勘定	△77,540	△132,485
退職給付に係る調整額	33,546	39,790
持分法適用会社に対する持分相当額	459	—
その他の包括利益合計	△133,212	△108,774
四半期包括利益	642,107	856,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,107	840,749
非支配株主に係る四半期包括利益	—	15,374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,007,572	1,272,542
減価償却費	476,542	501,395
負ののれん発生益	—	△85,367
段階取得に係る差損益(△は益)	—	59,043
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,640	6,309
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△109,219	△84,209
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,564	12,133
その他の引当金の増減額(△は減少)	35,150	22,825
未払役員賞与の増減額(△は減少)	△51,290	△70,300
受取利息及び受取配当金	△16,682	△18,162
支払利息	1,467	6,513
為替差損益(△は益)	31,794	24,791
固定資産売却損益(△は益)	3	△5
固定資産除却損	1,458	14,491
持分法による投資損益(△は益)	△48,815	—
会員権売却損益(△は益)	△696	—
売上債権の増減額(△は増加)	484,316	712,717
たな卸資産の増減額(△は増加)	△306,959	182,705
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,643	△321,239
未収入金の増減額(△は増加)	65,166	△4,514
その他	△39,496	△16,168
小計	1,403,464	2,215,499
利息及び配当金の受取額	45,562	18,162
利息の支払額	△1,483	△6,519
法人税等の支払額	△225,250	△267,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,222,292	1,959,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△800,733	△901,670
有形固定資産の売却による収入	153	213
投資有価証券の取得による支出	△2,852	△2,999
無形固定資産の取得による支出	△3,616	△11,103
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	248,698
定期預金の預入による支出	△53,871	—
定期預金の払戻による収入	54,754	—
会員権の売却による収入	1,296	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	229,185	399,175
その他	△63	△26,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	△575,747	△293,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△36,328
配当金の支払額	△212,191	△257,698
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△130,713
その他	△4,896	△4,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,088	△429,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,648	△46,195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	308,807	1,190,334
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,504	1,421,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,738,311	2,611,719

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結累計期間より、持分法関連会社であった新綜工業股份有限公司の株式を追加取得したことにより連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,316,741	2,579,829	1,667,735	12,564,306	—	12,564,306
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	105,281	301,426	4,552	411,260	△411,260	—
計	8,422,022	2,881,256	1,672,287	12,975,567	△411,260	12,564,306
セグメント利益	777,749	122,041	210,170	1,109,962	△157,016	952,946

(注) 1. 売上高の調整額△411,260千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△157,016千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成31年1月1日 至平成31年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,211,580	3,383,384	1,937,318	13,532,282	—	13,532,282
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	63,729	308,706	5,549	377,986	△377,986	—
計	8,275,309	3,692,091	1,942,867	13,910,268	△377,986	13,532,282
セグメント利益	843,085	313,629	254,713	1,411,429	△183,096	1,228,333

(注) 1. 売上高の調整額△377,986千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△183,096千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に持分法適用会社の新綜工業股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益85,367千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損59,043千円を合わせて計上しております。